

(令和2年11月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	11月の総入荷量は、好天が続き多くの品目で生育が順調に進んだものの、長だいこんやキャベツ等の重量野菜の減少や業務需要の減退により前年同月比で3%下回った。総取扱金額は、重量野菜を中心に安値で推移したため8%下回った。 12月も好天により生育が順調に進み潤沢な入荷となり、多くの品目において安値で推移することが予想される。また、金時にんじん、雑煮大根、くわい、頭いも、海老いも等の正月商材に関しても、安定した入荷となるものの、業務需要の回復が期待できず販売は苦戦することが予想される。
野 菜	野菜全般の入荷量は多くの品目で生育が順調に進んだ一方で、長だいこんやキャベツ等の重量野菜の減少の影響等により前年同月比で3%下回ったが、単価は需要が低かったため8%下回った。 根菜類の入荷量は北海道産の減少の影響により前年同月比で11%下回ったが、単価は需要が低かったため9%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が低かったため25%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は8%下回った。 土物類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は3%上回った。
果 実	果実全般の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は13%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で16%上回り、単価は8%下回った。 柿類の入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は21%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で46%下回り、単価は25%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん かぶ 西洋にんじん	千葉，長崎を中心に鹿児島，徳島，石川などからも入荷した。入荷量は消費の低迷により前年同月比で7％下回ったが，単価は需要が低かったため24％下回った。 京都を中心に滋賀，北海道から入荷した。入荷量は北海道産の減少により前年同月比で25％下回ったが，単価は需要が低かったため33％下回った。 北海道を中心に青森，長崎，鳥取，熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で22％下回り，単価は28％上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	茨城を中心に長野，鹿児島，滋賀，岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が低かったため39％下回った。 愛知を中心に茨城，滋賀，長野，鹿児島などからも入荷した。入荷量は小玉傾向となったため前年同月比で8％下回ったが，単価は需要が低かったため24％下回った。 京都，福岡，岐阜，茨城，鳥取などから入荷した。入荷量は前年同月比で6％上回り，単価は28％下回った。 兵庫，長崎を中心に徳島，茨城，岡山などからも入荷した。入荷量は小玉傾向となったため前年同月比で5％下回ったが，単価は需要が低かったため42％下回った。

【果菜類】

きゅうり

宮崎を中心に滋賀，佐賀，高知，福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％上回り，単価は１８％下回った。

なす

高知を中心に岡山，京都，徳島，香川などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は高値で推移した前年同月と比べて１６％下回った。

とまと

熊本を中心に福岡，滋賀，岐阜，京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２７％上回り，単価は８％下回った。

ピーマン

宮崎を中心に高知，大分，韓国，茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り，単価は８％上回った。

【土物類】

ばれいしょ
(メイクイン含む)

北海道を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で１７％下回り，単価は７９％上回った。

たまねぎ

北海道を中心に兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％上回り，単価は６％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
早生みかん	和歌山を中心に福岡，香川，大分などからも入荷した。入荷量は生育が順調に進んだため前年同月比で４％上回ったが，単価は上旬の需要の高まりにより５％上回った。
富士 (サン富士含む)	青森，長野を中心に岩手，秋田，北海道からも入荷した。入荷量は前年同月比で３６％上回り，単価は１０％下回った。
富有柿	奈良を中心に福岡，京都，滋賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り，単価は１６％上回った。
アールスメロン	長崎，静岡，オーストラリア，高知から入荷した。入荷量は前年同月比で４８％下回り，単価は２８％上回った。